

渡辺 博

ひろし

市政報告

公式ホームページ /

渡辺ひろし

検索

[令和7年 春季号]

<https://hiroshidesu.net/>

事務所 〒983-0841 仙台市宮城野区原町二丁目1の35
TEL 293-2313 FAX 792-9061

宮城野中学校同窓会会長 / 元原町小学校PTA会長
榴岡小学校同窓会顧問 (校舎新築委員長)

昭和62年4月 初当選 現在10期

プロフィール

仙台市立榴岡小学校
仙台市立宮城野中学校
宮城県仙台第一高等学校
宮城教育大学 特設教員養成課程(高校数学)一学年修了
東北大学工学部卒業
民間企業勤務
国会議員秘書



仙台市議会議員

渡辺ひろし

生まれ育った仙台、ひとまかせにはできません。

「市政一貫」

ごあいさつ

仙台市議会議員

渡辺 博

皆様にはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。
お陰様で私も健康に恵まれ元気に仙台市議会議員の
職責に専心致しております。

令和5年7月の選挙から早くも3議会定例会が過ぎま
した。この間国内外の動きは大きく、政治、社会、経済の環境
は変化しております。

仙台市政も大きな流れの中で未来に向けて、激しく
動いております。多くの皆さんが訪れ活動する場である
大都市特有の解決すべき課題は山積みです。

「権限と必要な財源の確保」は喫緊の課題です。「仙台
市にふさわしい特別自治市」の実現は急がねばなりません。

同時に仙台市の努力で予算の原資となる歳入を増や

していくことも大事です。仙台市長には「予算を使うことは
かりの施政方針ではなく歳入をいかに増やすかを示すこ
とも大事ではないか」と指摘しております。更に限られた予
算の有効活用の視点も大事です。

「スクラップアンドビルド」をして政策の磨き上げとともに
新しい政策の採用を果敢に実行して時代の要請に応え
ていくべきである」とも迫っております。そのために政策の
効果を図る手法である仙台市がまだ採用していない
「産業連関表」* 等の活用を具体的に提案しております。

子育て環境充実に関してもまだまだ不十分、高齢社会
に対する対応も、見直しが必要です。

仙台市は「脱炭素社会」「多様化社会」構築に向けて
担当局を設けて取り組みを始めました。大事な取り組みで
あると思います。

仙台市政の基本は、仙台市民の理解と協力の確保で
あります。又、仙台市民の「あらゆる面での安全と安心の
確保」であります。

今後とも課題解決に全力で取り組んで参ります。仙台
市政にご注目下さい。そしてご注文、ご指摘をどんど
ん下さい。数の多さが私の原動力になります。

※…経済波及効果の分析や経済指標の分析に使う

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

各種SNSも
随時更新
しています！



これからも
ふるさと
仙台のために

2019.8.26 議員章交付

初心忘るべからず

是非の初心、時々の初心、老後の初心 「花鏡」

健康都市宣言

「市民のすべてが、健康で文化的な生活を
営むことのできる都市」の実現に邁進します

産業、交通、建設、教育、文化、民生等あらゆる施策をここに結集します(昭和37年3月16日議決) 抜粋

仙台市は特別自治市の実現を目指しています

地域の夢を実現するのが議員の役目です

仙台市が目指す大都市のあり方

「特別自治市仙台」制度の実現に向けて

- ▶ 仙台市は、令和元年に市制施行130周年、政令指定都市・区制移行30周年を迎えました。
- ▶ 少子高齢化や人口減少、東京圏への一極集中が全国的に課題となっていることに加え、多発する自然災害や長期化する新型コロナウイルス感染症への対応など、**行政課題は複雑化・多様化**しています。
- ▶ 市民の皆さまや地域にとって、一番望ましい行政のあり方とはどのようなものかという視点から、**地域の特性や実情を踏まえた目指すべき大都市の姿を構築**していく必要があります。

「指定都市」ってなに??

指定都市とは、地方自治法で「政令で指定された人口50万人以上の都市」と規定されている都市のことで、全国に20市あります。

特徴① 一般の市より多くの権限を持つ

指定都市は、地方自治法の「大都市特例」という規定によって、都道府県が行う事務の一部も担っており、一般の市に比べて多くの権限を持っています。

特徴② 大都市特有の行政課題にも対応

指定都市は制度上、基本的には一般の市と同じ枠組みの中にありながらも、大都市ならではの複雑で多様な課題を効率的・効果的に解決し、行政サービスを充実させることが求められています。

指定都市制度が抱える課題

指定都市制度は、道府県から独立した特別市制度を廃止する代わりに、一定の権限と財源を与える中間的な制度として**暫定的に設定**されたもので、行政上・財政上の課題があります。

課題1 指定都市と道府県がそれぞれ同種の事務を処理

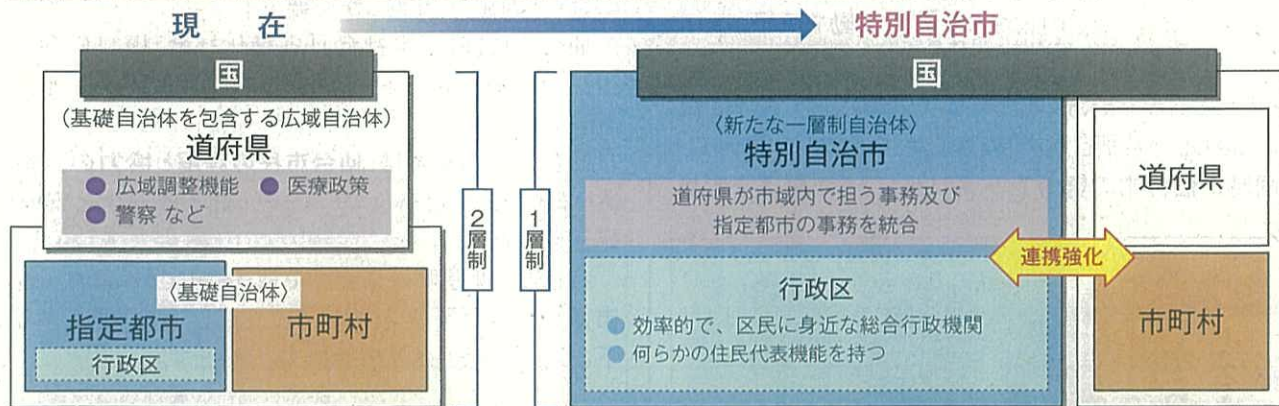
指定都市と道府県との間で事務・権限が分かれていることにより、窓口の分散やいわゆる二重行政の問題など、非効率な状況が生じています。

課題2 指定都市の役割・仕事量に見合わない税財源

地方税制は事務・権限に関わりなく画一的であるため、大都市の特例事務に必要な財源については、**税制上の措置が不十分**です。

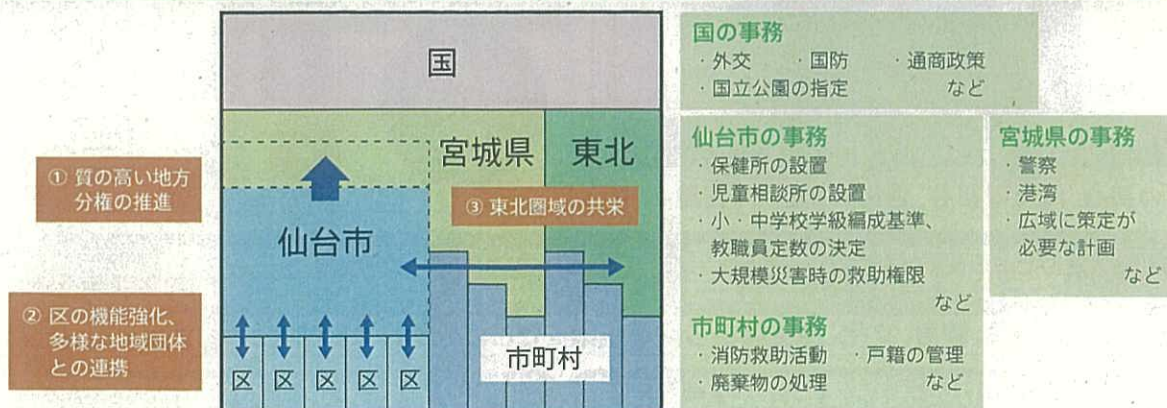
新たな大都市制度「特別自治市」の法制化に向けて

指定都市市長会では、これらの課題を踏まえ、基礎自治体優先の原則の下、住民がより良い行政サービスを受けられるよう、「**特別自治市**」制度の法制化など、**地域の特性に応じた多様な大都市制度の早期実現**を目指しています。



出典：指定都市市長会ホームページ <https://www.siteitosi.jp/opinion/background.html>

仙台市が目指すべき大都市のあり方（イメージ図）



渡辺 博ひろし (宮城野区)

代表質疑・一般質問抜粋



仙台市議会 定例会

一般質問 特別委員会質問

令和5年 仙台市議会定例会

2023年 第2回定例会(令和5年5月25日～6月9日)

旧自由民主党会派

☆渡辺ひろし一般質問

- 着用の有無で致死率に1・5倍の差が出る
自転車用ヘルメットの市民啓発を
- ごみ収集の方法に多様化が必要。個別収集の検討を
- 「健康都市宣言」から60年。その精神を今後に生かすべき
- 土砂災害警戒区域内の市立小中学校の安全対策
- 高等教育機関の科学技術を活用したまちづくり
- 英語教育推進への取り組み

第3回定例会から 新たな活動をはじめました。

自由民主党フォーラム 結成

2023年 第3回定例会(令和5年9月12日～10月13日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 「楽しい子育て」の具体的な取り組み
- 郡市長は初心を忘れず、いじめ撲滅への取り組みを
- 変化と挑戦を求められる郡市長の個性を生かした取り組み

問

市長は市議会議員選挙を通じて示された民意をどのように市政運営に生かすのか。

答

全ての市民に居場所があり、活躍ができるまちの実現に向け、挑戦を続ける。

会派代表質疑

新たな学生フリーパス制度

問

新たな学生フリーパス制度における価格設定と本市の財政負担の考え方、市外からの通学者が利用できる理由を伺う。

答

宮城交通の通学定期の令和3年度平均販売額約1万2千円より低廉な価格となるよう事業者と協議する。また、本市財政負担は販売額の設定や利用者見込み数により変動するが、宮城交通の販売実績等を加味して、販売額を1万円として試算した場合、財政負担は年間約5千万円と算定される。市外から通学している若者の移動支援で、活動の場が広がり、本市のにぎわいや活力向上が期待される。

OECDチャンピオン・メイヤー・イニシアティブへの選定

問

チャンピオン・メイヤーズの一員として世界に発信・貢献する立場の市長は、どのように世界に貢献し、市政に生かしていくのか。

答

物価高騰に伴う低所得世帯や子ども食堂への支援、東日本大震災における住宅再建の事例等、本市の取り組みを世界に向けて強力に発信し、地球規模の課題解決に貢献する機会だ。今後とも、国際的なまちづくりの動向に気を配りながら各般の施策に磨きをかけ、グローバルな視点をもって市政運営に取り組む。

その他の主な質疑項目

- 緑化フェア閉幕後の会場利用方法
- 今後の観光振興とインバウンドも含めた観光戦略
- (仮称)仙台こども財団の取り組みの検討内容と効果
- 市役所のDXビジョンと方向性
- ナノテラスを生かす経済活性化策
- 脱炭素先行地域選定への取り組み

☆決算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- いじめ防止等の対策に関する本市の取り組み状況
- 市役所は最高のサービス機関であるための努力をすべき
- プレーパークで安全を担うプレーリーダーの計画的養成を

2023年 第4回定例会(令和5年12月6日～12月21日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 公立・私立の区別なく、保育所等の防犯対策を徹底せよ
- 世界の文化を知るための入口となる英語教育の充実を
- 令和8年の市電創業100周年記念イベントの開催を
- 夜景を活用し、仙台の都市魅力の発掘と創造に取り組め

2024年 第1回定例会(令和6年2月9日～3月14日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 事業の成果を確実にするため、まちづくりには総合的な取り組みと市役所内での連携を
- 仙台駅東口地区における新たな総合的計画的なまちづくりと町内会の再生・再編
- 文化芸術推進基本計画に城下町仙台的伝統文化の記載を
- 「科学技術を生かしたまちづくり」に向けた理系教育

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 子どもの笑顔が生まれる地域づくりにプレーパーク普及を
- 仙台駅東地域の整備や活性化にふさわしい組織的対応を
- 歳入増に向け積極的にふるさと納税等の手段を活用せよ

2024年 第2回定例会(令和6年6月10日～6月25日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 歳入増に向け、産業連関表を作るなどして行う定量的な検証で施策を磨き上げよ
- 合計特殊出生率への所感およびその要因と今後の取り組み
- 不登校児への現状認識、支援と居場所確保に向けた児童館や民間児童クラブとの連携

2024年 第3回定例会(令和6年9月3日～10月4日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 市政と市民の距離感への懸念
- 東北大学の知を公教育へ
- 市有施設の有効活用で本市ならではの遊戯施設実現を
- 公的行事における市旗の掲揚と市立学校の掲揚施設整備
- 職場環境等、市職員に関心を
- 市政を支える企業への支援を(物価高騰対策)

☆決算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 体育館などで屋内遊び場を(身近な場所の活用)
- 東北市長会会長として、他都市市長と連携した課題解決
- 国民保護に係る市長の認識
- 公園利用ルールの見直しを(利用しやすい公園)
- 家庭ごみ収集の持続可能性

2024年 第4回定例会(令和6年12月6日～12月23日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 大学の知を生かした公教育、特に科学館の運営の充実
- 「仙台の顔づくり」を意識した青葉通・宮城野通の整備
- 児童生徒の安全と危機対応
- 外食時に残した料理の持ち帰りの早期実施で食品ロス削減
- 市の関係部署間連携で主権者教育と選挙啓発事業の実施を

2025年 第1回定例会(令和7年2月7日～3月13日)

☆渡辺ひろし一般質問

- 榴岡公園の歴史的価値を鑑み、みやぎNPOプラザ移転後の土地を含め再整備を図るべき



▲昭和46年、孝勝寺境内へ移転前の榴岡の釈迦堂付近
写真・ミナカワ様提供

- 厳しい財政状況においても市民生活を守ることが重要
- 市交通事業は市長の責務として持続可能性を確保すべき
- すぐにでも実現できる身近な遊び場整備

☆予算等審査特別委員会(渡辺ひろし分)

- 広報は市民の理解を得るためにも、国内外に情報発信するためにも重要である。他の政令市が取り組むように方針から格上げして戦略的取り組みをすべきである。

- ダイバーシティ推進にあたり、前提として自国日本、郷土仙台を深く知り誇りを持つことが大事である。城下町仙台に生まれた、又ゆかりのある偉大な先人の業績を知ること、郷土史や育まれてきた伝統文化を学ぶことが大事である。力を尽くすべきである。

- 仙台市は偉大な業績を残した先人たちが多くいる。科学技術の面で見れば、国内外で高く評価され、科学の進展に貢献された偉人は枚挙にいとまない。仙台市はこれまで科学技術に貢献した重要な都市であり今後も役割を果たすべきである。先人教育の充実と共に仙台市科学館を「科学技術を活かしたまち仙台」のシンボルとして位置付けるべきである。

- 子どもの屋内遊戯場の方向は見えた。スピード感で進めるべき。一方今必要な公園など身近な遊び場の実現を急ぐべきである。課題を解決して出来るだけ早く提供すべきである。

- 「のびすく宮城野」は市内で施設面積が極端に狭い。児童館運営にも影響がある。解決に向けて取り組むべきである。

- 予算執行にあたり結果に繋がる体制が必要である。効果を計る仕組みが必要である。予算案議決後も、市民生活に直結する場合、特に生命健康に関わる場合は年央でも柔軟に予算措置を講ずるべきである。

- 日本の精神文化を伝える武道教育、形ばかりにならぬよう努めるべきである。日本武道は日本人の価値観や社会構造、教育、精神文化と密接に結びついていて、伊達文化城下町仙台に息づく日本の伝統文化と位置づけ継承が必要と考える。市長のご認識は如何か。

